

議決事項

| 件名 | 提案理由 | 審議の状況 | 採決の次第 |
|---|---|--------|-------|
| 報告第17号 鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について | 鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について、教育長の臨時代理により要綱を制定したこと、及びその内容について報告するものである。 | 特記事項なし | |

平成27年度第4回教育委員会定例会出席者

| 日時及び場所 | 出席者 | |
|--|--|--|
| <p>平成27年7月13日（月）</p> <p>午後3時04分</p> <p>↓</p> <p>午後4時29分</p> <p>第2研修室</p> | <p>教育委員長 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p> <p>教育長 長濱 重光</p> | <p>教育総務課長 保久上 光昭</p> <p>学校教育課長 下江 嘉誉</p> <p>社会教育課長 森山 博之</p> |

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成27年度第4回教育委員会定例会を開会した。

2 平成27年度第3回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 議 事

報告第17号 鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について

4 その他

移動教育委員会について

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

| | |
|---------------|---|
| <p>3 議 事</p> | <p>報告第 17 号</p> |
| <p>教育総務課長</p> | <p>鹿児島県立垂水高等学校生徒通学費等補助金交付要綱の一部改正について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。</p> |
| <p>田原委員</p> | <p>生徒本人の意思で受講申請することになるのか。通常、予備校などを受講すれば相応の受講料を出すわけで、永瀬社長の「垂水の子どもたちへの期待」もあって好意でもらえることを、子も親もしっかり自覚した上で受講しないと何にもならない。最後まで続かないと意味がないので、頑張るよう付け加えて欲しい。</p> |
| <p>教育総務課長</p> | <p>まず学力試験を受け生徒の学力レベルを確認し、先生と相談しながら決めていく。社長の話にもあるように、何とんでも本人のやる気がないと、いくら良い教材であっても効果は出ないということ。そのためにも先生方のサポートが必要で、2人の先生方に東進ハイスクールでの4泊5日研修を受けていただいた。</p> |
| <p>田原委員</p> | <p>生徒たちが先生方によく面談をしていただき、共通理解のもとにやれば効果が上がると思う。お願いしておきたい。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>学校全体で取り組んでいただかなければいけないわけで、2人の先生は代表で行かれたということで良いか。</p> |
| <p>教育総務課長</p> | <p>研修から帰られて、報告会で他の先生方にも共通認識を持ってもらう取り組みをしているところである。</p> |
| <p>田原委員</p> | <p>今年やったからすぐ結果が出るというものでもないことを、考えておいた方が良い。これだけつぎ込んでということにならないように。</p> |
| <p>教育総務課長</p> | <p>いきなり国公立大学への進学が増えるとかという見方ではなく、まずは生徒のやる気が出てくるようにすることから始まる。この講座受講も目指して垂水高校を選択し、入学してくる来年度からの新入生については、自ずとその効果は違ってくるものと思われる。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>来春募集に対する効果が大きいのではないか。能力があっても経済的に大変な生徒が何人かでも来てくれれば、これからの力になるのではないか。非常にありがたい話である。</p> |
| <p>田原委員</p> | <p>鹿屋や鹿児島に交通費を払って行くよりも、地元でこのような塾の講座が受けられるのであればというのは、必ず出てくると思う。期待したい。</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| <p>4 その他</p> <p>教育総務課長</p> | <p>移動教育委員会について</p> <p>昨年と同様に、8月10日に協和小学校で移動教育委員会として定例会を開催し、その後、地域住民等と教育委員との意見交換会を実施することについて説明。</p> |
| <p>5 報告</p> <p>委員長</p> | <p>委員並びに教育長報告及び課長報告</p> <p>教育委員、教育長及び各課長の報告に入る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月1日、協和・松ヶ崎小学校、3日は牛根・境小学校の学校訪問に参加。全体的に教育の大きな理念、知育・徳育・体育の教育目標を具現化するために、地域と一体になって日々一生懸命に取り組んでいる現場を見せていただいた。年々、充実してきている印象を持った。 ・ 協和小学校は、今年から複式学級が始まった。軽々に結論付けはできないが、協力しないと学習が成り立たず、無意識の中で自己存在というものが育ち身に付いていく、少ない人数でも大人数とは全然違ういい面を持っているという複式学級の良さを考えるようになった。 ・ 7月9日のわくわくどきどき！夢教室への参加報告と併せて、4月以降6回開催されたまちづくり集落座談会の協議の中で、今年から小学校と合同で校区運動会をすることとなったこと等について報告あり。 |
| <p>田原委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月1日、3日の学校訪問に参加し、それぞれの学校の特徴を生かし、子どもも全力投球しているが、全教職員が校長先生のリーダーシップのもと、全校態勢で取り組んでおられると強く感じた。そして、そのことが、いろんな教育活動の成果につながっているのではないかと思った。 ・ 7月6日、株式会社ナガセの永瀬社長の講演を聞き、小さな塾から日本を代表する受験産業にまで成長された社長のバイタリティに感服した。話を聞き子どもたちがどう感じたかであるが、社長のメッセージは伝わったように感じた。それに応えてくれる子どもたちが育つのではと思う。 ・ 今、新聞、テレビを賑わしている岩手県中学2年生男子のいじめ事件を見て、これまで全国的にいじめの取組みをしていると思っていたが、この程度のものだったのかと疑問を持った。担任が1人で解決しようとして抱え込んでしまい、他の生徒や先生も気付いていたと思うがひとつも動いていない。上司への報・連・相がなかったようで、全国的な取組みとして浸透していなかったのかと強く思った。 |
| <p>中谷委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 4校の学校訪問に参加したが、全体を通して先生方が工夫して頑張っているのがわかった。複式学級で学ぶと、学び方を学ぶことができると思う。ガイド学習やペア学習の成果が、子どもたちが中学生や高校生になった時に、考える力や判断する力、思うことを相手に伝える力が生活の場面に出てきて発揮できると思う。咄嗟の判断力とか、自分で何とかしなければならないとの思いが出てくると思う。複式の学び方を学ぶ学習の実践成果が、何年か後に垂水の子どもたちに出てくると思っている。それは、子どもが力強く生き抜いていく力になると思う。 |

葛迫委員

- ・講演会であるが、郷土の先輩が生徒に、「大きな志を持って進みなさい」という話であったが、やればできることを教えていただき、元気をいただいた話であった。垂水高校生の通信講座受講の取組みも、生徒たちには心して受けていただきたい。
- ・夢教室のオペラ観劇であるが、本物を見せてもらう体験は本当に素晴らしいことだ。演じる側は一所懸命演じてくださって、子どもたちにも心を演じるということが伝わったと思う。
- ・牛根小・境小学校の学校訪問に参加して、研究テーマがしっかりしている感じがした。牛根小学校は、読むこと、そして音読することが徹底されていた。今後も続けていって欲しい。境小学校は、交通の便とか市の中心から最も離れているということで目が届かなかつたりする部分もあり、地形的にも子どもの遊び場が限られて体力づくりに大変だと思った。そういう中で、教育研究のテーマが主体的に学び伝える子どもの育成ということで、これは大事だと感じた。反復練習することで、授業や体力づくりにつなげている。それぞれの学校ごとに、特色のある研究テーマとなっているなど感じた。
- ・オペラ鑑賞の夢教室は、最初は難しいのではと危惧していたが、グリム童話からとった「ヘンデルとグレーテル」という子どもたちにとって馴染み深い、取っつきやすい内容であった。昨年のバレエもそうであったが、思考力とか表現力とかを養うのに非常に良い教育で、情操教育にもつながっている、かけがえのない教育だと思った。今回のオペラ鑑賞で子どもたちが何を感じて、何を学んだのか非常に楽しみである。
- ・6月26日に垂水市図画作品審査会があり審査したが、今年は昨年までに比べると非常にレベルが上がっている。特に、中学生のレベルが上がったと感じた。美術の授業が少なくなっているにもかかわらずレベルが上がっている理由を自分なりに考えてみたが、スケッチの作品を決められた時間で集中して描いているというのが窺えた。子どもたちに非常に集中力があり、その集中力で養われたのか、今まで何でこんな絵が描けなかったのかと不思議であった。この集中力が他の科目に影響を与え、つながっていけばいいと期待している。

教育長

- ・垂水中央中学校野球部が好成績をあげており、7月21日からの県総体優勝の期待がかかっていることを報告。
- ・深港川の土石流で深港橋が片側交互通行となっていることに関し、この間のスクールバス等通学方法と、夢教室時の対応等の状況を報告。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

6月20日から7月13日までの主な行事等について報告。
併せて、8月10日までの予定についてお知らせした。

6 閉 会